おらほの資源(宝物)

迫町　本田行政区

登米市迫町本田行政区
（人口 233 人、高齢化率 38.6%）H28.2/29 現在

本田区の区長さんに誘われ芋掘りに参加したことで、この行政区では、いろんなイベントや行事をしていることが分かった。

耕作放棄地を当時 88 歳の農家のベテランの指導の下、区民総出で畑にし、「本田ファーム」（①）と名付け、春は芋を植え、秋は大根や白菜を収穫している。作物が取れるまでに参加した分を、作業の重さ・軽さごとにポイントを付け、収穫時にはその保有ポイントに応じ作物を分配している。ポイントの中には「監督」というポイントもあるとのこと。（⑧）

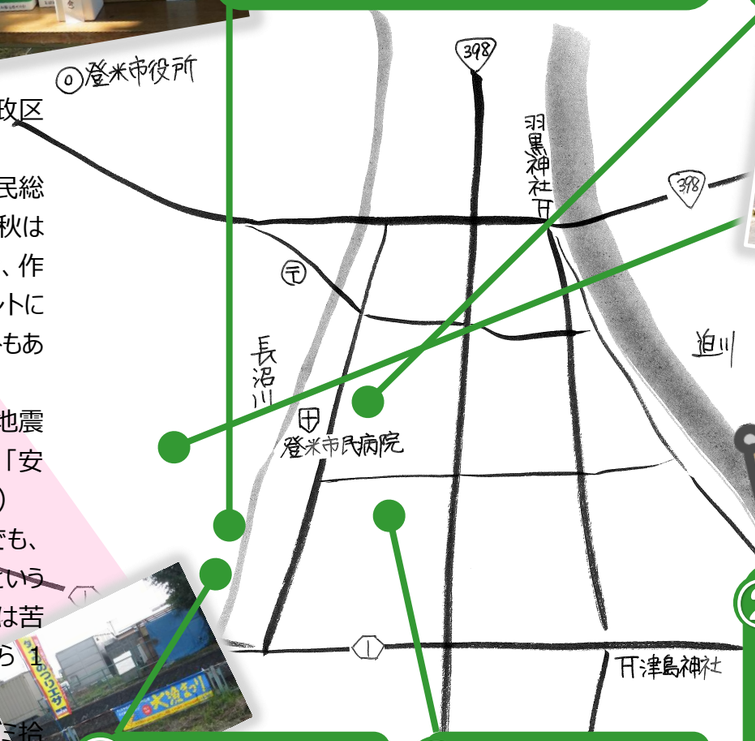
また、本田区では毎月 11 日に「防災の日」と定め、毎戸で「地震や火災などに十分な対応を取っています。」の意味合いも含め、「安全黄旗」を玄関先や、門口に掲載する運動を行っている。（②）

毎年の佐沼夏祭りには、小学生が 2～3 人しかいない時代でも、区出身者の孫や、親類・縁者の小学生に、夏の思い出づくりという名目で呼び寄せ、欠かすことなく参加している。また、祭の喧騒は苦手だという区民の為に、「本田桟敷」（③）を設け、1 家庭から 1 品ずつ持ち寄り、楽しく飲食を取りながら花火見物をしている。

ボランティア活動で長沼川の浄化活動をし、河川の草刈、ゴミ拾い、そして夏休みには「釣り大会」（④・⑥）と、区内外との交流も盛んだ。

内外の交流といえば、今年で 29 回目を数え、毎年 8 月 14 日に開催される「親和会盆踊り」（⑤）は、会場の装飾も、櫓舞台の規模も、屋台の出し物も 1 行政区での催事の範囲を大きく上回るもので行っている。

春と秋の交通安全週間は、交差点での安全指導。敬老会、年末の夜回り、防災訓練、新年会、班毎に区民会館の清掃活動を毎月行うなど、高齢化率 38.6%の地区だが、地域が一体となる取り組みを行い、来る 2025 年問題も地域で解決していきたい。



④ 長沼川釣り大会

区内に「親和会」あり。県・市と契約し、川の環境向上の活動をしている。夏休み、8 月の第一日曜日に子供達に釣り体験と、川の浄化状況の宣伝をしている。隣接する商店会などにも声を掛け、河川敷の草刈り、ゴミ拾いとセットの釣り大会をしている。

③ 夏祭りは本田桟敷で

区内の小学生は現在男女で 6 人。夏祭りの出し物の"ちびっこ神輿"を繰り出すには超不足。（10 年以上前から）しかし、本田区出身者の子・孫を呼び寄せ、欠かすことはない。また、祭会場の喧騒は嫌だという区民の為、花火の見える場所に桟敷を作り楽しんでいる。

⑤ 本田区親和会盆踊り大会

毎年お盆に開催。今年で 29 回目を数える伝統行事。帰省した方も大歓迎のこの祭は、毎年趣向を凝らしたテーマがあり、今年は「リオオリンピック&ウルトラマン 50 周年」。また、盆踊り上手上位 3 名には景品がでるなど楽しめる工夫がいっぱい。

⑧ 畑には監督席がある！

足腰が痛い、筋肉が衰えた。でも、口は達者で昔は畑仕事を熱心に行った。そんな先輩のために畑にくるだけで 1 ポイントの監督席。

① 本田ファーム

今年で 6 年目になる"本田ファーム"来るべき超高齢化地域で起こる耕作放棄を、集団での協働作業で解決できないかとの思いで始めた。現在は、芋・トウモロコシ・大根・白菜を収穫し、作業の労働量ごとにポイントを付け分配。
分配は公平で、不平不満はない。

② 毎月 11 日は防災の日

毎月 11 日は本田区防災の日。「安全黄旗の日」という事で、毎戸の道路から見える玄関先や門口に掲揚している。3・11 の震災の記憶をいつも持続し、自助の意識を強くしてもらうために行っている。区は 10 月の防災訓練を 10 年前から継続している。

⑥ スマイルリバーサポーター

区内に「親和会」あり。県・市と契約し川の環境向上の活動をしている。春分の日、秋分の日と、5 月・8 月・10 月に草刈を行っている。

⑦ 本田親和会

地域の住民構成は変化する。嫁に行く人、婿に来る人。旧来の住人と、新住人との密接な繋がりの為に立ち上げた団体。